

## 令和4年度 第5回玉垣小学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年2月16日(木) 16:00～17:10

2 場 所 図書室

3 あいさつ(委員長・学校長)

4 学校保健委員会

(1) 養護教諭から別冊資料をもとに、①定期健康診断の結果 ②保健室来室状況 ③出席停止状況 ④児童保健委員会の活動 ⑤スポーツ振興センター災害発生状況 について説明。

(2) 栄養教諭から別冊資料をもとに、①給食の残食量 ②食に関する指導 ③食物アレルギー対応除去食 について説明。

(3) 意見交換

### 【保健関係】

Q けがによる来室は6月が一番多い。雨季で外では遊べないときも多いと思うが、どのようなけがが多いのか。

A 打撲や擦り傷が多い。運動場でもけがをするが、休み時間の教室や、掃除の時間にぶつける子も多い。

Q けがをした場所の「その他」とは具体的にどこをさすのか。

A ほとんどは、自宅でしたけがを見せに来るケースである。その他に、自分でも気が付かないうちにいつのまにかけがをしていた、というものも含んでいる。

Q インフルエンザでの学級閉鎖の目安は、何人か。

A あくまでも目安だが、学級の人数の約3割。欠席人数が多くても、インフルエンザが理由でない場合もあるので、状況をふまえながら学校医や教育委員会と相談している。

- ・ インフルエンザはここ3年の中で考えれば多いが、コロナの流行以前に比べるとそう多くはない。マスクや手洗い、うがいの成果と言える。
- ・ 今後コロナに対する対応方針が変わっても、マスクを外さない子が多いと考えられる。また、友だちの顔もマスク姿で見慣れているため、戸惑いもあるかもしれない。外しやすい環境をつくる必要がある。
- ・ 今後は、コロナもインフルエンザと同じように付き合っていかなければならない。コロナの特効薬が普及すれば、より安心できるようになるかもしれない。

### 【給食関係】

Q エピペン注射液(アナフィラキシー補助治療剤)を持っている子は、何人か。

- A 3人。子どものランドセルに入れている。該当のところに印をつけて、教職員が対応できるようにしている。
- Q 給食を個人としては残したりするだろうが、残ったものを他の子がもらったりはしないのか。
- A クラス内では、食べ始める前に自分に適した量に減らしたり、増やしたりの調整をして、全部を盛り付けるようにはしている。しかし最終的に残ることはある。特に牛乳は、2本も3本も飲むのは難しいので、欠席者がいると残ることが多い。
- Q 11月の残量が減っているが、全体量を減らしているのか。
- A 量は、身体の成長を踏まえて、10月から増やしている。インフルエンザが増えた時期も、今年あまり残量が出なかった。子どもたちはよく食べている。
- Q 物価が高騰し、材料費が上がっていると思うが、どのように対処しているのか。
- A 子どもたちは楽しみにしているが、デザート回数を減らしたり、高い根菜類を安い葉物野菜に変えたりして、「量が減った」と感じさせないような工夫をしている。
- Q 給食費を納めない家庭はあるか。
- A 今は公会計化により把握していない。ここ数年の状況では、遅れる方はいるが納めていただいている。
- ・ 以前と異なり、給食を無理やり食べさせるという指導はしていないと思うので、子どもが自主的に食べている状況でのこの残量は立派である。

## 5 協議事項

### (1) 学校関係者評価

#### 【学力向上】

- ・ 地域の中には、多数の本を持っていて寄付したい人もいるのではないかと。募るのもひとつの方法ではないか。
- ・ 読書週間を設けて、家族で同じ本を読んだり、同じ時間に読書をしたりする取組はとても良い。
- ・ 家庭学習は宿題だけでなく、自主学習も含んだ目標である。さらに取組を進めると良い。

#### 【ICTの活用】

- ・ 長期欠席の児童にも、Chromebookを貸与し、希望があればオンライン授業も行っていることは良い。

#### 【不登校】

- ・ 不登校になる要因として、子ども同士のいじめ、ヤングケアラー、虐待などどのような背景があるのか、家庭環境や本人の特性なども含めて、丁寧に捉えていく必要がある。
- ・ 教室には入りにくい児童について、保健室や校長室などで居場所づくりを進めているが、校内に空き教室もなく難しい面もある。市の適応指導教室などの利用も含めて、居場所づくりにさらに取り組んでほしい。

#### 【地域連携】

- ・ 引渡し訓練で、迎えが難しかったケースが少なかったのは良い。

### 【豊かな心の育成】

- ・ 特別支援教育については、県立の特別支援学校の教員を講師に招くなど、専門的な知識を持った方から学べるとよい。

### 【健康でたくましく生きる力の育成】

※ 本年度の体力テストの結果は未着。

## 6 鈴鹿市教育委員会より

- ・ 鈴鹿市で運営している適応指導教室（けやき／さつき教室）があるが、保護者が送迎する必要がある。そこで、本年度は小学校3校で空き教室を利用して、教室に入りにくい子どもを対象に、学校が楽しいなと思えるような取組をしている。来年度は増室をめざして予算要望をしているところ。
- ・ 不登校は鈴鹿市全体として取り組んでいる課題である。子どもに寄り添いながら、子どもが学校に向かえるように支援していきたい。
- ・ 学校運営委員会の皆さんからご意見を多くいただけると、それだけ、来年度の学校経営方針に生かすことができる。玉垣小学校のために、たくさんのご意見をお願いしたい。

## 7 その他

- (1) 卒業式の服装，マスクの着用について
- (2) 鈴鹿市教育振興基本計画策定に係るアンケートについて
- (3) 次回学校運営協議会について